

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表:令和 5 年 9 月 28 日

アンケート期間:令和 5 年 9 月 1 日～令和 5 年 9 月 22 日

事業所名 ルシエル 江端

保護者等数(児童数) 23(24) 回収数 15 割合 65.2 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	1		3		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	12			3		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	2		6		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	15					
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	15					
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	6	2	6		
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	1				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13	2			子どもの前では、なかなか相談などしにくいので、時々面談があっても良いかと思う。	保護者等の意向等を把握し、業務改善に取り組んでいきます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	4				
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	3	8	3		
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	3		5		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	1				
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10	2	1	1		
	14 個人情報に十分注意しているか	14			1		
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10	1		4		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	1		2		
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	12	2		1	子どもたちのことを理解して、一人の人として尊重していただき、とてもありがたいです。	ありがとうございます。今後も継続していきます。
	18 事業所の支援に満足しているか	15				いつも本当によくいただき、感謝してもきれません。	ありがとうございます。今後も継続していきます。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせる実施されることが想定されている。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 5 年 9 月 26 日

公表: 令和 5 年 9 月 28 日

事業所名 ルシェル 江端

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		指導訓練室等を定員に対して確保しています。	
	2 職員の配置数は適切である	○		法令上必要数を配置しています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		フロアにジョイントマットを敷き、転倒防止を図っています。バリアフリーになっています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日、事業所内の清掃を行い空気清浄機を使用し、適度な換気を行い清潔保持に努めています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		職員全体で会議を常日頃から実施し、業務の改善を図っています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者評価を1年に一度実施し、意見等を把握し業務改善に努めています。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		事業所入り口に掲示し分かりやすく公開しています。自己評価表を事業所のHPに掲載しています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		行っていない為、実施を検討しています。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部研修への参加や職員内研修を月に一度以上実施しています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		モニタリングの期間中、アセスメントの見直し計画書の立案・作成を行っています。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		今後検討していきたいと思います。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		発達支援、家族支援、地域支援の中からお子様の支援に必要な内容を設定し支援しています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		計画について会議を行い、支援内容を共有し支援を行っています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員全体でミーティングを行い、行事予定や活動プログラムを立案しています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節に合わせたプログラム等、子ども達と話し合い行事の立案等を行っています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		子どもの状況に合わせて個別の計画の作成を行っています。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼ミーティングを実施し、当日利用の子どもについての情報共有や支援内容の確認を行っています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼ミーティングを実施し、当日利用した子どもについての支援内容の反省等の振り返りを行っています。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎利用時に一人ひとりの連絡帳に学習の様子や内容を詳しく記録しています。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		半年以内にモニタリング会議を行ない支援内容の変更等を話し合い、計画書の見直しを行っています。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参画しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っています	○		関係機関との連携を行いながら支援を行っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		現在医療的ケアが必要なお子様や重症心身障害のお子様のご利用はありません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		現在医療的ケアが必要なお子様や重症心身障害のお子様のご利用はありません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		相談支援事業所や認定こども園等とも情報を情報共有を行っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者より秘密保持の願いがあった場合、学校との連携はせず、保護者との対応のみ行っています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		研修への参加が不十分である為、積極的に参加出切る様に努めます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		障害のある事を隠したい子どもたちもいますので、交流する機会を設けていません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		協議会等の参加が不十分である為、積極的に参加出切る様に努めます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎の際、利用時の様子を話し情報共有し共通理解に努めています。	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		定期的に面談を行い、保護者の悩み等に対しての助言を行っています。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明を行い、不明な点があればその都度対応を行っています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		ガイドラインに基づき計画を作成し、保護者様からの同意を得て実施しています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		随時面談や相談を受ける体制を整えており、相談があった場合は助言や支援を検討実施出来る様に努めています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		定期的に保護者様との面談を行っており、支援方法や要望について話し合いは設けております。今後、保護者会の要望や必要性がありましたら開催を検討させていただきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		迅速に対応しています。支援・成長について様々な相談に対応し、その後職員間で情報共有しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		Instagramにおいて、活動の様子を発信しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報の記載があるケース記録やファイルは鍵付きの書庫に保管しています。PC端末はパスワード設定し管理をしています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		絵カード等を使用しています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		行っておりません。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアルを作成し、訓練も実施しています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月に一度、防災の勉強会を行い防災への知識を高めています。	

非常時等の対応	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		保護者と連携をし健康状態の確認をしています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		医師からの指示書はないが、保護者に確認を行い対応しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		マニュアルを策定し、報告等が速やかに行える様にしています。またヒヤリハット事例検討会を実施し、職員間で共有し対策を検討するなどの体制を取っています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		職員向けに虐待防止研修を実施し、外部の研修にも参加しています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○		職員向けに研修を実施し、やむを得ず身体拘束を行う際の留意点や手続きなどについて周知徹底していきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。